



2015年度 年主題〈平和をつくる〉

0・1・2歳児 1月主題「あそぼう」

月のねがい

- ◎手や指を十分使って遊ぶ
- ◎保育者や身近な友だちとのつながりが深まる
- ◎冬の生活習慣を知る
- ◎日々の生活場面の中で祈ろうとする

3・4・5歳児 1月主題 「いっしょに」

月のねがい

- ◎冬の生活習慣を身につける
- ◎友だちと協力し、アイディアを出し合い、工夫して遊ぶ
- ◎お互いの違いを認めつつ、助け合える喜びを感じる



今月の聖句 「主は、その人にえらぶべきみちを教えられる。」

詩編 25:12

新年のお慶びを申し上げます。あわせて、子育て中の皆様の上に神様の祝福と加護がありますように祈ります。

「一年の計は元旦にあり」とは昔からの言い伝えであり、今日なお真理であると思います。一年の計を建てるにあたり、重要なことは何を基準に立てるかです。冒頭のことはその答えを示していると思います。

人生は実に「選択」の連続です。成功も失敗も出発点は自らが良かれと信じて選んだ結果です。結果を反省分析し、次の選択に活かすことが一般的です。それでも再三、再四失敗することがあります。それは、自己の基本的欲求が利己的で他人を喜ばすことを考えないからです。神は「自分のことばかりでなく、他人のことを考えなさい。」「隣人を愛しなさい。」と教えておられます。是非、参考に致しましょう。

前理事長 池田公榮



1月の行事予定

8日(金)	始園式(1号午前保育)
14日(木)	誕生会(12・1月生まれ)
23日(土)	持久走大会



2月の行事予定

10日(水)	おゆうぎ会予行
20日(土)	おゆうぎ会
22日(月)	振替休日(1号)
24日(水)	遠足



お知らせ

1月に岩元愛衣保育教諭が入籍し、田原姓となります。今後とも宜しくお願いします。

言葉が育む子どもの成長

新年明けましておめでとうございます。

お正月はそれぞれのご家庭で楽しい時を過ごされたことでしょう。

新学期が始まり、久しぶりに登園してくる子どもたちは「明けましておめでとうございます!」と大きな声で挨拶してくれました。気持ちも新たに、嬉しい気持ちで子どもたちを迎える事が出来て感謝です。

次の文は、先日のめぐみ組の日誌からの抜粋です。

かみつき等なく過ごすことが出来た一日だった。この冬休みの間に言葉がよく出るようになったと感じる。会話が成り立つことで落ち着いているようだ。おもちゃでたたかれてしまった Yちゃん、「しないで〜!」と言うことが出来る。頑張った言葉だ!すごい!

私たちも子どもたちとの会話を楽しんで保育をしていこう!

昨日は出来なかったことが今日は出来ていて、昨日は出来ていたのに今日は出来なくなっていて...等を繰り返しながら成長していく子どもたち。1・2才の頃は手が先に出てしまうために、集団の中で過ごすときに叩いたり、取ったり、噛んだり...感情むき出しの状態です。でも、周りの大人が



「かして!って言うんだよ。」など、一つ一つの場面で行動と言葉を結びつけて関わっていくことで、言葉がでてくようになる子どもたちです。

園長

幼児の生活のリズム・体力・体のバランスについて

学校保健委員会の会議録より

幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校の各機関から集まり、「子どもたちの生活リズムの乱れや、体力・体のバランスのおかしさ」について現状を話し合い、今後の課題や改善への方向性を出し合ってみました。

〈幼稚園・保育園・こども園から〉

- ・ブランコこぎが出来ない
- ・食事は単品が多く、柔らかい物を好む(あごの発達不足)
- ・転んだとき手が出ず顔にケガをする(骨の成長と筋肉に発達のアンバランス)
- ・イスに座るとき背中がぐにゃつとしている
- ・就寝時間が遅く、朝からすっきり目覚めない
- ・便秘気味。オムツ外れの年齢が遅くなっている(不快感の体験不足)

〈小学校から〉

- ・走ると転ぶ。跳び箱の着地がマットの外
- ・思わぬことでケガや骨折になる(鉄棒の途中で手を離す)
- ・便秘傾向。歯並びの悪さ。欠食は少ないが単品化傾向
- ・就寝時間の遅延

〈中学校から〉

- ・特定部位だけの運動負荷(部活中の肉離れ、ヘルニア、疲労骨折)
- ・すぐに転がりたがる
- ・精神的な刺激が続く、疲れているのに眠れない

〈養護教諭から〉

自分の体をコントロールする力(調整力)は、2、3才から小学校3、4年生までの様々な運動遊びやスポーツによって身に付けていく。また、外遊びを通して、人との関わり方の基本を学べることを再認識し、外遊びを十分にさせて欲しい。

(スポーツ教室等では運動量は満たされるが、偏りがみられる点を留意すること)

現代の子どもたちの生活から「三間(時間・空間・仲間)」が減少したことが、子どもから体を動かす機会を奪い、体力低下を招いていると言われる昨今です。どうしたら子どものからだ作りが出来るかを私たち大人は真剣に考え、実践していく力を身に付けていきたいものです。

今年一年も、子どもたちの健やかな成長を願って、保護者

新年明けましておめでとうございます。本年も皆様のご家庭にとつて、平安で恵みに満ちた一年でありますよう心よりお祈りいたします。

皆様はそれぞれの場所で、年末年始の楽しい一時を過ごされたことかと存じます。ご存じの方もいらつしやると思いますが、年末に行つた飲食店での忘年会の際に、本職員の一部分がノロウイルスによる集団食中毒に罹るという想定外の出来事がありました。保育利用中の保護者の皆様には、お弁当の変更や外部委託での給食実施等で大変ご迷惑をお掛けいたしました。この場をお借りして、改めてお詫言申し上げます。給食従事者は再度詳細なPCR検査を経て、ノロウイルス陰性の判定を確認した上で、調理を再開しておりますのでご安心ください。

さて、相変わらず世間では、常識では理解しがたい若年層の事件が次々と起こっています。遊び半分で友人を死に至らしめたり、欲望を抑えきれず見知らぬ人を襲つたり...枚挙に暇がありません。昨今よく「平和ボケ」という言葉を耳にしますが、それ以上に「欲求ボケ」を感じざるを得ません。様々なメディアを通して限りなく欲望をあおり立てるこの時代では、物質の豊かさに比例して心が荒んでいくようです。逆境の極致の中でパウロがこう言います。「わたしは、どんな境遇にあつても、足ることを学んだ。わたしは貧に処する道を知っており、富におる道も知っている。わたしは飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、ありとあらゆる境遇に処する秘けつを心得ている。」「ここまでの境地にならずとも、「足るを知る」ことの教えは、昔はこの家庭でもあつたことではないでしょうか。

いよいよ三学期を迎えます。一年間の歩みを確かめる仕上げの時です。特に、年長児にとつては就学を控えた大切な時間となります。数々の行事・活動への参加や挑戦も豊かな育ちの種となりますが、何よりあそびを通して培った探求の喜びや友だちとの交わりは小学校以降の生活の基となることでしょう。人間形成の基礎となる幼児期に得る経験は、後々の人生の大きな宝となるはずです。幼い時に植え付けられた存在の肯定と愛されているこの実感は、必ず逆境の日の杖になるに違いありません。与えられた賜物に感謝できる日々となりますように祈ります。今後ともご支援を宜しくお願い致します。

学園長